

情熱を信頼に

第100期第2四半期
報告書

自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社の第100期第2四半期連結累計期間が終了いたしましたので、ここに第100期第2四半期報告書をお届けします。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては、当社に関連する需要が、全般的に好調に推移したことから、前年同期比増収となりました。

また、損益につきましては、無機化学品事業の一部が減益となったものの、その他の無機化学品事業及び機能化学品・化成品事業が主要顧客の需要回復等により増益となったことから、全体として前年同期比大幅増益となりました。

一方、今後の見通しにつきましては、内需の底堅さと海外経済の持ち直し等を背景に、国内景気は緩やかな回復を継続するものと想定されますが、世界経済が様々な不確定要素を抱える中、当社関連需要の回復テンポ、円安に伴う主要原燃料価格の上昇圧力等、諸要因の動向を慎重に見極める必要がありますことから、平成26年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点では平成25年5月10日に発表した内容から変更しておりません。



—平成26年3月期通期連結業績予想及び配当予想—

【売上高】	365.5億円
【営業利益】	12.2億円
【経常利益】	13.0億円
【当期純利益】	5.1億円
【配当金】	2.0円

当社グループは、本年5月に、新中期経営計画「NKC-Plan2015」を見直し、新たなアクションプランをスタートさせておりますが、その軌道に沿った歩みをより確実なものとするべく、今後とも各種経営諸施策の実行に心血を注いでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

取締役社長

中村英輔

当社グループの営業の概況

当第2四半期連結累計期間（4月～9月）における日本経済は、堅調な国内需要に支えられ、引き続き緩やかな回復過程を辿る一方、海外経済については、米国が回復基調を維持する中で全体として徐々に持ち直し傾向を示しましたが、新興国経済の成長鈍化、欧州債務問題の今後の展開等、種々の不安要因を抱えるなど、取り巻く諸情勢は、先行き見通し難い状況が継続しました。

このような状況下、当社グループは、諸情勢を踏まえ、本年度、新中期経営計画「NKC-Plan2015」を見直し、新たなアクションプランに沿って、安定的な収益基盤の構築に向け、各種経営諸施策を取進めてまいりました。

こうした中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては、当社に関連する需要が、一般的に好調に推移したことから、前年同期比増収となりました。

また、損益につきましては、無機化学品事業の一部が減益となったものの、その他の無機化学品事業及び機能化学品・化成品事業が主要顧客の需要回復等により増益となったことから、全体として前年同期比大幅増益となりました。

一方、損益につきましては、無機化学品事業の一部が減益となったものの、その他の無機化学品事業及び機能化学品・化成品事業が主要顧客の需要回復等により増益となったことから、全体として前年同期比大幅増益となりました。

具体的には、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,100百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益は280百万円（前年同期は営業損失139百万円）、経常利益は487百万円（前年同期は経常利益5百万円）、四半期純利益は360百万円（前年同期は四半期純損失40百万円）となりました。

セグメント別の概況

(無機化学品事業)

硝酸をはじめとするアンモニア系製品は前年同期並みとなりましたが、液体アンモニアの需要が引き続き堅調であったこと等から、販売数量、売上高とも増加しました。合成石英粉は、前年第4四半期に需要が底入れして以降、適宜回復過程を辿ったこと等により、販売数量、売上高とも前年同期並みとなりました。ディーゼル車脱硝用高品位尿素水（アドブルー）は、市場競争の激化による厳しい状況下、拡販努力等により、販売数量、売上高とも増加しました。電子工業用高純度薬品は、半導体関連分野の需要回復、液晶分野向けの拡販努力等により、販売数量、売上高とも増加しました。

その結果、全体の売上高は8,857百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

(機能化学品・化成品事業)

タイク（ゴム、プラスチック架橋助剤）は、第1四半期に引き続き回復基調で推移したことから、販売数量、売上高とも増加しました。脂肪酸アミドは、厳しい市場環境下、拡販努力等により、販売数量、売上高とも微増となりました。

メタノールは、販売数量は減少したものの、円安及び市況の上昇に伴い、売上高は増加しました。ホルマリン及び木材加工用接着剤は、住宅着工件数増加等により主要顧客の需要が引き続き堅調に推移したこと等により、販売数量、売上高とも増加しました。

その結果、全体の売上高は5,943百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(エンジニアリング事業)

一般プラント工事を中心とした営業努力及び一部検収の前倒し等により、売上高は1,603百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

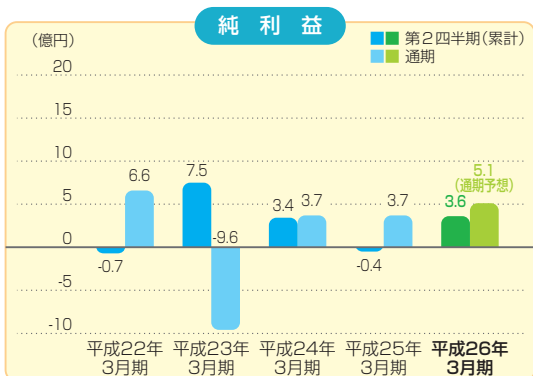
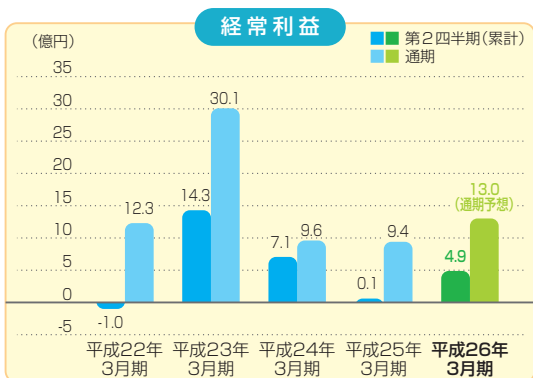
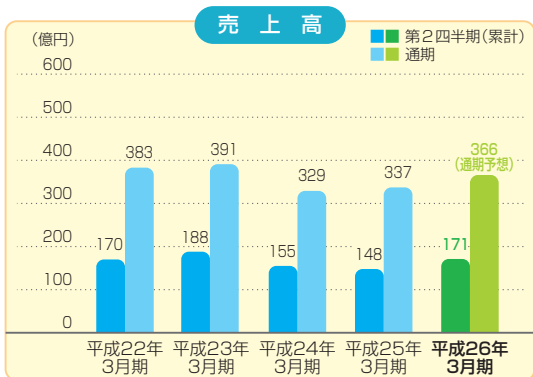
(その他)

貨物運送・荷役事業は、ほぼ前年同期並みで推移しました。有機溶剤等の蒸留・精製業は一部主要顧客の需要回復等により、極めて厳しい状況で推移した前年同期との比較では売上高が増加しました。

その結果、全体の売上高は626百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

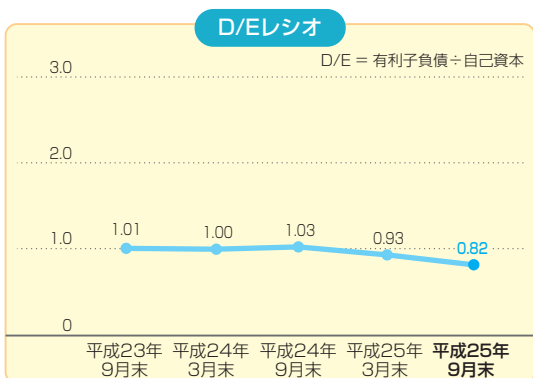
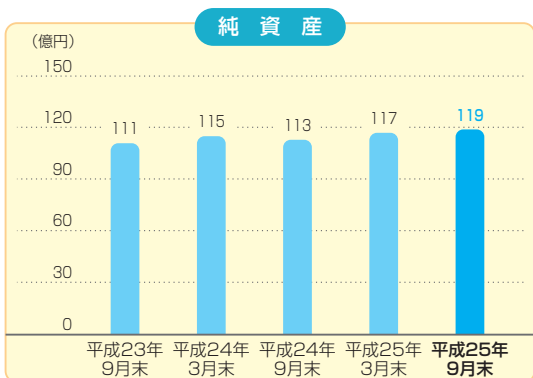
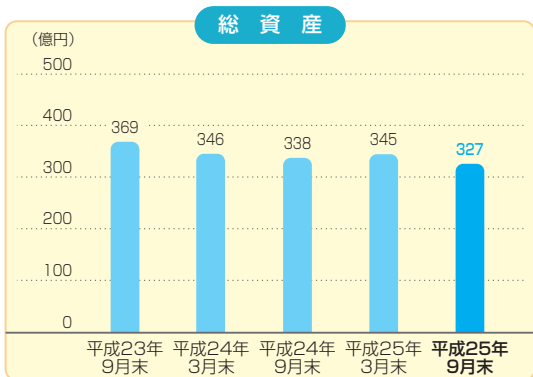


連結業績の推移



売上高：億円未満四捨五入

経常利益、純利益：千万円未満四捨五入

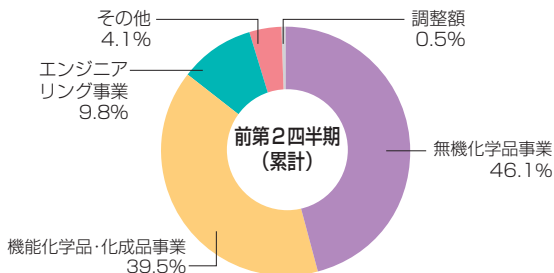
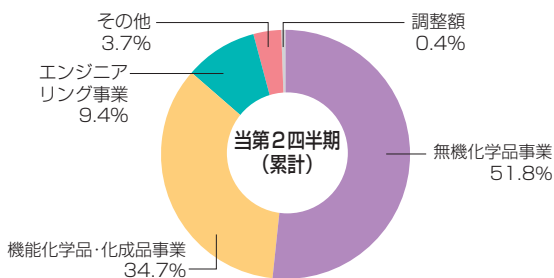


総資産、純資産：億円未満四捨五入

セグメント別の事業内容

セグメント名	主要製品
無機化学品事業	アンモニア系製品（液安、硝酸、硝酸塩類、混酸、液体尿素、高品位尿素水等）、電子工業用高純度薬品、合成石英粉等
機能化学品・化成品事業	タイヤ（ゴム、プラスチック架橋助剤）、紫外線硬化性樹脂、脂肪酸アミド、ワックス、2-ピロリドン（有機溶剤）、メタノール、ホルマリン、硫酸、接着剤、石油販売業等
エンジニアリング事業	プラント設計・建設・修繕、建築、土木、保全工事等
その他	貨物運送・荷役業、蒸留事業等

セグメント別売上高構成比



(注) 売上高の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない電気及び蒸気の販売であります。

連結貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
流動資産	16,292	流動負債	17,081
現金及び預金	1,624	支払手形及び買掛金	5,115
受取手形及び売掛金	7,870	短期借入金	9,197
商品及び製品	3,090	未払法人税等	48
仕 掛 品	1,156	賞与引当金	287
原材料及び貯蔵品	1,220	災害損失引当金	216
そ の 他	1,333	そ の 他	2,218
貸倒引当金	△1	固定負債	3,728
固定資産	16,388	長期借入金	503
有形固定資産	10,274	退職給付引当金	3,032
建物及び構築物	2,861	役員退職慰勞引当金	78
機械装置及び運搬具	1,911	そ の 他	115
土 地	4,986	負債合計	20,809
建設仮勘定	342	純 資 産 の 部	
そ の 他	174	株主資本	11,814
無形固定資産	68	資 本 金	6,593
そ の 他	68	利益剰余金	5,227
投資その他の資産	6,046	自己株式	△6
そ の 他	6,065	その他の包括利益累計額	57
貸倒引当金	△19	その他有価証券評価差額金	57
資産合計	32,680	純資産合計	11,871
		負債・純資産合計	32,680

連結損益計算書 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

科 目	金 額	
	百万円	百万円
売 上 高		17,100
売 上 原 価		14,356
売 上 総 利 益		2,744
販売費及び一般管理費		2,464
営 業 利 益		280
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
受 取 配 当 金	160	
持分法による投資利益	32	
受 取 賃 貸 料	23	
そ の 他	47	262
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	44	
そ の 他	11	55
経 常 利 益		487
税金等調整前四半期純利益		487
法人税、住民税及び事業税	44	
法 人 税 等 調 整 額	83	127
少数株主損益調整前四半期純利益		360
四 半 期 純 利 益		360

貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	百万円		百万円
流動資産	12,549	流動負債	14,944
現金及び預金	671	支払手形	47
受取手形	114	買掛金	2,869
売掛金	5,955	短期借入金	9,130
商品及び製品	3,051	1年内返済予定 の長期借入金	207
仕掛品	104	未払金	522
原材料及び貯蔵品	1,211	未払費用	1,336
前払費用	126	未払法人税等	17
繰延税金資産	450	未払事業所税	14
短期貸付金	300	賞与引当金	156
未収入金	401	災害損失引当金	216
その他	160	その他	424
固定資産	14,753	固定負債	3,071
有形固定資産	9,881	長期借入金	502
建物	1,794	退職給付引当金	2,430
構築物	878	役員退職慰労引当金	48
機械及び装置	1,998	その他	90
車両運搬具	3	負債合計	18,015
工具、器具及び備品	152	純資産の部	
土地	4,720	株主資本	9,249
建設仮勘定	333	資本金	6,593
無形固定資産	23	利益剰余金	2,661
特許権	0	利益準備金	178
ソフトウェア	22	その他利益剰余金	2,482
投資その他の資産	4,849	繰越利益剰余金	2,482
投資有価証券	493	自己株式	△5
関係会社株式	341	評価・換算差額等	37
関係会社長期貸付金	160	その他有価証券評価差額金	37
長期前払費用	124	純資産合計	9,287
繰延税金資産	1,494	負債・純資産合計	27,302
投資不動産	2,289		
その他	80		
貸倒引当金	△134		
資産合計	27,302		

損益計算書 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

科 目	金 額	
	百万円	百万円
売 上 高		13,234
売 上 原 価		11,232
売 上 総 利 益		2,001
販売費及び一般管理費		1,932
営 業 利 益		68
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	1	
受 取 配 当 金	501	
そ の 他 の 収 益	46	550
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	43	
そ の 他 の 費 用	6	50
経 常 利 益		569
特 別 損 失		
関係会社貸倒引当金繰入額	8	8
税引前四半期純利益		560
法人税、住民税及び事業税	△41	
法 人 税 等 調 整 額	78	37
四 半 期 純 利 益		522

会社概要

(平成25年10月1日現在)

○商号

日本化成株式会社

○英文社名

Nippon Kasei Chemical Company Limited

○本社

東京都中央区新川一丁目8番8号 アクロス新川ビル

○資本金


6,593百万円

○創立

昭和12年9月1日

情熱を信頼に

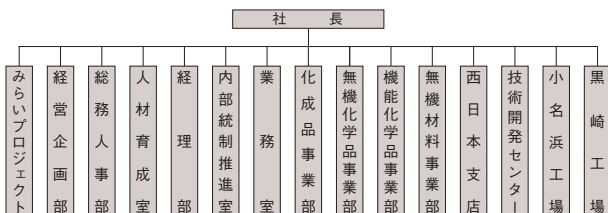
私たちは情熱の全てをお客様の価値創造にそそぎます
新たな出会いを大切に、積み上げた信頼が
私たちの未来になることを信じて

 日本化成グループ

会社組織及び主要な事業内容

組織図

(平成25年10月1日現在)



主要な事業内容

(平成25年10月1日現在)

部門別	主要製品名
化成品事業部	メタノール、ホルマリン、硫酸、接着剤等
無機化学品事業部	アンモニア系製品（液安、硝酸、硝酸塩類、混酸、液体尿素、高品位尿素水等）、電子工業用高純度薬品
機能化学品事業部	タイク（ゴム、プラスチック架橋助剤）、紫外線硬化性樹脂、脂肪酸アמיד、ワックス、2-ピロリドン（有機溶剤）等
無機材料事業部	合成石英粉等

役員

(平成25年10月1日現在)

地位	氏名	担当又は主な職業
取締役社長 (代表取締役)	中村英輔	
常務取締役	藤倉剛	社長特命
取締役	坂本昭二	機能化学品事業部長
取締役	渡辺和哉	経営企画部、業務室、小名浜工場、黒崎工場担当
取締役	和賀昌之	三菱化学㈱ 執行役員 機能化学本部長
常勤監査役	坂部憲治	
監査役	佐藤寛樹	三菱化学㈱ 監査役
監査役	美村貞直	弁護士

(注) 監査役坂部憲治、佐藤寛樹及び美村貞直の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

(平成25年9月30日現在)

- ① 発行可能株式総数 200,000千株
- ② 発行済株式の総数 105,115千株
- ③ 株主数 6,975名
- ④ 大株主

株主名	持株数	持株比率
三菱化学(株)	55,450,500 ^株	52.77 [%]
三菱商事(株)	12,750,000	12.13
(株)みずほ銀行	1,850,000	1.76
東京海上日動火災保険(株)	1,254,000	1.19
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	903,000	0.86
黒木清巳	461,000	0.44
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	455,000	0.43
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口1	374,000	0.36
日本証券金融(株)	362,000	0.34
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口6	343,000	0.33

(注) 持株比率は自己株式(29,959株)を控除して計算しております。



主要な事業所／グループ会社

主要な事業所

(平成25年10月1日現在)

名 称	所 在 地
本 社	〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル7F TEL 03-5540-5861
西日本支店 大阪営業グループ	〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル7F TEL 06-6204-8422
西日本支店 中部営業グループ	〒451-6018 愛知県名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー18F TEL 052-565-3554
西日本支店 九州営業グループ	〒812-0026 福岡県福岡市博多区上川端町12-20 ふくぎん博多ビル8F TEL 092-281-6677
技術開発センター	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3115
小名浜工場	〒971-8101 福島県いわき市小名浜字高山34 TEL 0246-54-3111
黒崎工場	〒806-0004 福岡県北九州市八幡西区黒崎城石1-1 [三菱化学(株)黒崎事業所内] TEL 093-643-4010

グループ会社

日 化 運 輸(株)

小 名 浜 蒸 溜(株)

日化エンジニアリング(株)

小 名 浜 海 陸 運 送(株)

日化トレーディング(株)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主確定基準日	(1) 定時株主総会 3月31日 (2) 期末配当金 3月31日 (3) 中間配当金 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。

公告掲載URL <http://www.nkchemical.co.jp/investor-j/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Good Chemistry for Tomorrow

三菱ケミカルホールディングスグループ

日本化成株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル
tel 03-5540-5861 fax 03-5540-5961
<http://www.nkchemical.co.jp/>